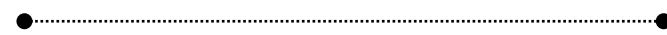


平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	山菜ふれあい事業
事業主体 (連絡先)	月岡生産森林組合 笑い声の会 0269-87-2110
事業区分	環境保全・景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,059,957円 (うち支援金: 777,000円)



事業内容

山菜園の整備

対象総面積2haのうち平成26年度は50aの荒廃農地・林地を除木及び下草刈りなどで再整備をし、既存のワラビ・根曲がり竹等の山菜類の育成に適した環境づくり、山菜苗の植え付け(約10a)を行った。



【 B 】

【目標・ねらい】

- ①遊休農林地の有効活用と景観整備
- ②集落の活性化
- ③高齢者の生きがい対策
- ④女性グループの育成

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・山菜園の整備作業に組合員の積極的な参加を得ることができ、本事業の目的の意義が理解され、集落としてのまとまりが一層深まった。
- ・遊休農林地を有効活用することで、景観維持や荒廃地解消対策につながった。
- ・今後、当該地周辺(仙当城跡地等)の再整備を行い、観光ルートづくりをして高齢者が案内人をするすることで、高齢者の生きがい対策につながる。また、山菜の販売等を通じ女性グループが事業に参画することで、女性グループの育成につながる。

※自己評価 **【B】**

【理由】
山菜園整備事業が目的どおり実施できた。作業を通じ、集落内の連帯感が強まり、将来的な話し合いがもたれた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ①山菜の植栽地の拡大や、当該地周辺の仙当城跡地及びミズバショウの群生地の再整備を行い、点と点を結ぶ観光ルートづくりをしていく。⇒高齢者が案内人(ガイド料支払う)となることで「高齢者の生きがい対策」につなげていく。
- ②山菜の販売及びツアー客の誘客(栄村振興公社と連携)により経済効果を高めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある